

# 7-4

五感を刺激して潤いある生活を

感覚から環境を考える

五感に働きかけるケア

セラピーの効果

至誠特別養護老人ホーム

|                  |                                    |
|------------------|------------------------------------|
| 発表者：ケアワーカー 鳥居 織江 | 共同発表者：ケアワーカー 河上 亮子                 |
| 所在地：立川市錦町6-28-15 |                                    |
| TEL：042-527-0061 | E-mail：nishiki-tokuyo@shisei.or.jp |
| FAX：042-527-0032 | URL：http://www.shisei.or.jp/       |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 今回の発表の施設<br>またはサービスの<br>概要 | 至誠ホームは高齢者総合福祉施設として、昭和26年に養護老人ホームを開設以来半世紀以上にわたり立川の地において高齢者福祉を担い、その時代や地域のニーズに応じた事業を先駆的に展開してきました。至誠特別養護老人ホームは昭和52年に開設し、現在150名の高齢者が4フロアで生活されております。 |
|----------------------------|--|

|  |   |
|--|---|
| <p>〈取り組んだ課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 利用者の状態に合わせた活動への取り組み</li><li>○ アロマや音楽など、これまで取り組んできた活動の更なる充実</li><li>○ 「四季・自然との触れ合い」をキーワードに感覚に働きかけた環境整備の検討・実施</li><li>○ 五感を通じて利用者へ「潤いのある生活」を提供</li></ul> <p>〈具体的な取り組み〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 比較のお元気な方への取り組み<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者のアンケートによる情報収集</li><li>・707での軽い運動・外出活動・季節の飾り付け・茶話会の企画・実施</li></ul></li><li>○ 経管栄養・静養中心の方への取り組み<ul style="list-style-type: none"><li>・嗅覚に働きかける…アロマの実施<br/>(アロマ加湿器・アロマディフューザーの活用)</li><li>・聴覚に働きかける…ヒーリングミュージックの活用</li><li>・触覚に働きかける…ハンドマッサージの実施</li><li>・視覚に働きかける…ヒーリングコーナーの設置</li></ul></li><li>○ 職員の意識・知識向上のための勉強会の実施</li><li>○ 柔軟化・継続化するための活動時間の検討・工夫</li></ul> | <p>〈活動の成果と評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 季節感のある活動や外出活動を通じて、利用者からの昔を思い出す言葉や普段見られない様々な感情を引き出す事が出来、少人数によるグループ活動を通じて、交流が生まれ、社会性を引き出す場となった。</li><li>○ 香りが癒しの効果とコミュニケーションの活性化に繋がった。</li><li>○ 入浴後の離床時間を活用し、テイルムでマッサージと音楽を聴きながら「ゆったりと過せる時間」を確保出来た。</li><li>○ ヒーリングコーナーは気づいた時にすぐに使う事が出来る為職員への活動の促進・動機づけに役立つ事ができた。</li><li>○ 五感に働きかけた「癒しの空間」を作ることで職員の気持ちにも「ゆとり」「癒し」を生み出す事が出来た。</li><li>○ 利用者に関わる時間が増えた事で利用者の新たな一面に気づいたり、職員のモチベーションを高める事が出来た。</li></ul> <p>〈今後の課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 「食」「味覚」へのアプローチ方法の検討・</li><li>○ 季節感を取り入れた活動の年間スケジュール表の作成</li><li>○ 活動を継続していくために<ul style="list-style-type: none"><li>・ルーチワークの再検討と効率化による活動時間の確保</li><li>・勉強会による職員の活動に対する意識の統一と向上</li><li>・707としての目的・目標の明確化</li></ul></li></ul> <p>→持続的でより良い活動への実践</p> |
|--|---|

## 【メモ欄】